

# キラットさん

BE AMBITIOUS

『モラトリアム世代 短大生』

秋田職業能力開発短期大学校1年

佐藤輝仁さん



管理教育下におかれる高校生以下の世代とも、いやおうなく世間の荒波にさらされる社会人とも一線を画す「短大生」。自主性を尊重されるこの若者たちは、大館の地にどのような根づいているのでしょうか。

佐藤さんは青森市出身の十九歳。秋田職業能力開発短期大学の学生自治会長です。

彼は写真に見るとおりの好青年。でも、真冬のこの時期に半袖Tシャツ姿で現れたのには驚かされました。しかしよく考えてみれば、暖房の効いた屋内であれば半袖で生活することも可能です。「冬」イコール「厚着」の図式は、今や固定観念である

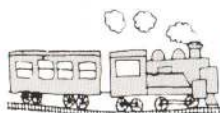
と言わなければなりません。短大生の自由な気風は、この辺りにも何うことができます。

彼の趣味は音楽鑑賞とスポーツ。特にボクシングが好きで、昨年、彼が中心となってボクシングのサークルを結成したのだそう。ただし、大館市内や周辺市町村には対外試合を申し込むべき相手が存在しません。それでも、早朝のロードワークをはじめとした鍛錬には余念がなく、「近い将来、秋田市内の高校のボクシング部と試合をしてみたい」と意欲を語ります。

オフタイムにはボウリングやカラオケも楽しむのだそうです。学生寮の中にいることが意外に多いといいます。

「寮の中のほうが落ち着くから」とその理由を語りますが、これはなんと彼ばかりでなく同校の学生に比較的多く見られる傾向なのだろうか。そういえば短大生と見られる若者は思いのほか街で見かけることが少ないように感じられます。なんとももったいないことですね。彼らのような独創的な若者たちには、もつと街のにぎわいを形成してもらいたいと思うのですが。

## 仙台発 → 大館着



前略

### 大館市民になりました

(58)

今回は有浦1丁目の白田浩二さんご一家です。

Q・ご家族は何人ですか？

妻の幸江、長男の亮介、長女の香里、次男の克大と私の五人家族です。

Q・どちらからおいでのになりましたか？

去年の八月、仙台市から引っ越して来ました。お盆の直後だったので、大文字まつりを見られず残念でした。

Q・大館の印象はいかがですか？

夏は雨が多く、冬は雪が多い街ですね。去年の夏、一日一度は雨が降っていたのを記憶しています。また、お祭りの多さも印象的です。大文字まつりのほかにもいろいろなイベントがあつて楽しいです。

Q・食べ物や言葉はいかがですか？

去年の暮れに食品の買い出しに出掛けたときのこと、店頭でナマコが大量に売られているのを見てちょっと驚かされました。大館ではお正月料理の定番なのだそうです。ほかの街ではちょっとない風習だと思いますよ。

言葉には柔らかい響きがあり、好感が持てます。順応の早い長

男は、肯定の意に用いる「んだ」や、動詞の過去形に付けて完了を表す接尾語「は」を多用しているようです。

Q・大館に何を望みますか？

歩道の除雪にもっと力を入れて欲しいですね。車道を除雪した結果歩道が雪の山になってしまい、歩行者が車道を歩かされているのをよく目にします。これは歩行者にとってもドライバーにとっても大変怖いものです。

